

平成29年度

印西市民アカデミーだより

第24号

第24回 印西市民アカデミー〈2月17日〉

講座 47 〈防災〉

講座名：『地域で取り組む災害への備え』

講師：防災課 小作 公哉氏、大浦 貴光氏

会場：そうふけ公民館 10:00~12:00

防災・災害に関する基本事項を一から学びました。

防災対策・災害対応における考え方には、「自助」「共助」「公助」の3つがあります。自助は、他人の力を借りず、自分の身で自分や家族を守ること。共助は、地域住民が協力し合い、防災活動に取り組み、人命や地域を守ること。公助は、国・県・市・自衛隊・警察・消防が行う人命救助や被災者支援などの防災活動のこと。特に、地域の高齢化に伴い、共助の担い手が減少してきている現状から、「救助される人」ではなく、「救助が不要な人」そして「救助する人」になることが極めて重要になってきます。

災害時の避難所には、①広域避難場所（市街地での大規模火災時に一時的に避難する場所）、②指定避難場所（自宅の居住が困難で、避難を必要とする被災者を収容する）、③特別避難場所（障がいをお持ちの方、高齢者、妊婦等の要配慮者を受け入れる「福祉避難所」として開設、土砂災害警戒区域付近の市民が一時的に非難する避難所として開設）、④市が指定する一時避難場所（災害の危険を回避するため、一時的に非難する場所）の4つがあります。自分が住んでいる地域の避難所を確認しておくとともに、市発行のハザードマップ等でどんな災害が発生する可能性があるかを把握し、日ごろから備えておくことが重要です。「予防」の大切さを再認識させられた講座でした。



で、避難を必要とする被災者を収容する）、③特別避難場所（障がいをお持ちの方、高齢者、妊婦等の要配慮者を受け入れる「福祉避難所」として開設、土砂災害警戒区域付近の市民が一時的に非難する避難所として開設）、④市が指定する一時避難場所（災害の危険を回避するため、一時的に非難する場所）の4つがあります。自分が住んでいる地域の避難所を確認しておくとともに、市発行のハザードマップ等でどんな災害が発生する可能性があるかを把握し、日ごろから備えておくことが重要です。「予防」の大切さを再認識させられた講座でした。

講座 48 〈市民活動〉

講座名：『地域デビューに向けて・地域の一員としての役割』

講師：市民活動支援センター長 宮本 律子氏

会場：そうふけ公民館 13:30~15:30

市民活動団体とは、地域社会の様々な課題に対して、主体的に関わり、自分たちのまちを良くしたいという市民の思いを持って、それぞれの形で活動している団体のことをいいます。

印西市では、時代のニーズをいち早くキャッチし、平成16年に「市民活動推進条例」を施行するとともに、平成24年には「印西市市民活動支援センター」を中央駅前交流館2号館に開設しました。平成30年1月末現在で、134団体が活動しており、今後も増加が見込まれています。活動の種類は、奉仕、健康福祉、環境、子育て、平和、歴史文化、まちづくり、生きがいづくり、災害救助等々。



本講座では、これら団体の活動状況を詳しく説明しながら、市民活動の楽しさとその成果について語っていただきました。ちなみに「印西市民アカデミー同窓会」も登録団体として活躍しています。

本講座では、これら団体の活動状況を詳しく説明しながら、市民活動の楽しさとその成果について語っていただきました。ちなみに「印西市民アカデミー同窓会」も登録団体として活躍しています。

第25回の予定

■期日：3月10日（土）11:00~15:30

◇講座49〈総括〉11:00~12:00

講座名：修了式

会場：中央公民館

◇講座50〈総括〉13:00~15:00

講座名：『学習のまとめと2年生に向けて…最終講和』

講師：社会教育指導員

会場：中央公民館

